

<プロフィール> 2019.01.01 現在

大村 詠一（おおむら えいいち）
熊本県菊池郡大津町出身
1986年2月7日生まれ（現在32歳）

- ・元エアロビック競技日本代表
- ・認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク 専務理事
- ・公益社団法人日本エアロビック連盟 理事
- ・公益財団法人日本体操協会 広報委員

【略歴】

4歳の時に母の影響でエアロビックを始め、8歳（小学2年生）の時に1型糖尿病を発症する。

「病気でも何にでも挑戦できる」がモットーで努力を重ね、2002、2003年にエアロビック競技でユースの部（14歳から17歳までの部）の世界チャンピオンになる。

一般の部でも日本代表として活躍し、2016年の引退後は元エアロビック競技日本代表選手として、大会の解説や後進の育成などでエアロビックの普及、発展につとめている。

これらの活動が評価され、日本糖尿病協会から2002年に「ガリクソン賞」、2014年に「パラメデス賞」を受賞。

現在は、パフォーマーとしての各種イベント出演のほか、講演を通じた糖尿病の啓発活動、1型糖尿病の根絶を目指した研究助成に力を入れている。